

## 市民公開講座のお知らせ (入場無料)

演題：ドイツと日本における医療の違い

心臓移植の現状

日時：平成21年4月18日(土) 14:00~15:30

場所：前橋テルサ(2階テルサホール)

当院は今年開院20周年を迎えます。前橋テルサにおいて4月18日(土曜)午後には記念式典、祝賀会を開催致しますが、心臓血管外科ではドイツ、日本でもご高名な南和友先生(ドイツ・ポッフム大学永代教授、日本大学医学部心臓血管外科教授)をお迎えして市民公開講座を企画致しました。

演題は、「ドイツと日本における医療の違い 心臓移植の現状」です。先生は過去30年間で執刀した心臓、血管、肺手術はなんと20,000例(心臓移植500例を含む)という日本では考えられない数の手術経験をお持ちの上、500編以上の論文を国内外の重要学術誌に掲載されています。また、ご著書「世界のベスト医療をつくる」、「こんな医療でいいですか?」は好評を博しております。

素晴らしい講演会になることが期待されますので医療関係者のみならず、一般の皆様方多数のご参加をお願い申し上げます。

院長 市川秀一

### プロフィール



南 和友先生

#### 【専門】

心臓血管外科学、人工臓器学、心臓・肺移植

#### 【学歴】

昭和49年 京都府立医科大学医学部卒業

昭和56年 医学博士学位取得(デュッセルドルフ大学)

平成5年 ハビリタチオン(永代教授)資格取得(ポッフム大学)

#### 【業績】

1984年に年間手術数6000例という世界一大規模な心臓センターをドイツ、バードユーンハウゼンで立ち上げる。20以上の国内外の学会の会員、評議員を務め、国内外での学会報告は500回を超え、特別講演およびテレビ、ラジオでも活躍している。

### その他のお知らせ

3月より、市川院長の水曜日(午後)の外来が中止になります。

4月より、眼科常勤医が羽生田直人医師に代わります。

4月より、呼吸器外来が、月曜午前中から水曜午前中に代わります。

平成20年10月~12月

平均在院日数 : 17.0日

平均外来患者数 : 276.3人